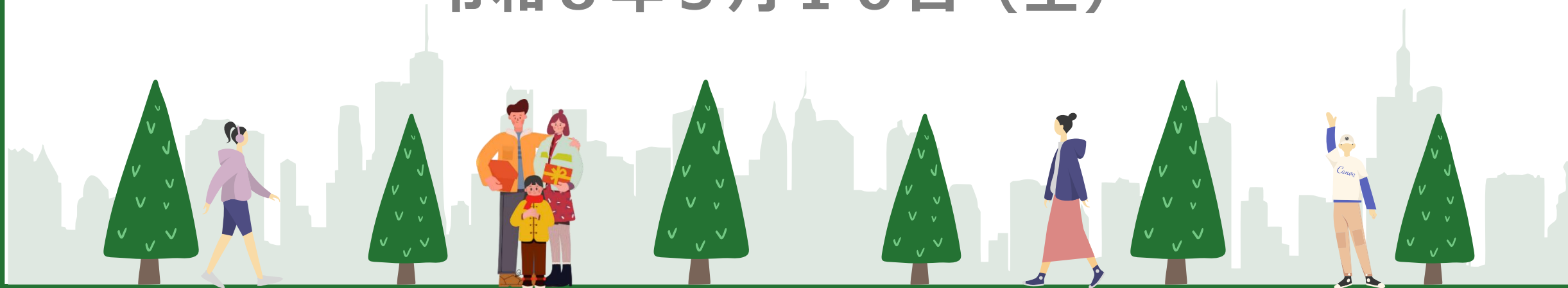


令和8年度 聴くオフ・ミーティング

アニメで盛り上げる杉並！

～なみすけも活用した魅力の発信～

令和8年5月16日（土）



本日の目的

- 「アニメのまち杉並」としての地域の魅力づくりの取り組みについて知っていただく！
- 「アニメ」や「なみすけ」を活用した杉並区の認知度向上・にぎわいの創出のための取組について、様々なアイデアをいただきたい！

いただいたアイデアは…

- ・今後、改定予定である産業振興計画に活かす！
- ・民間事業者や地域等と連携し、実現を目指す！

スペシャルゲスト

杉並アニメーションミュージアム館長

吉田 力雄 氏

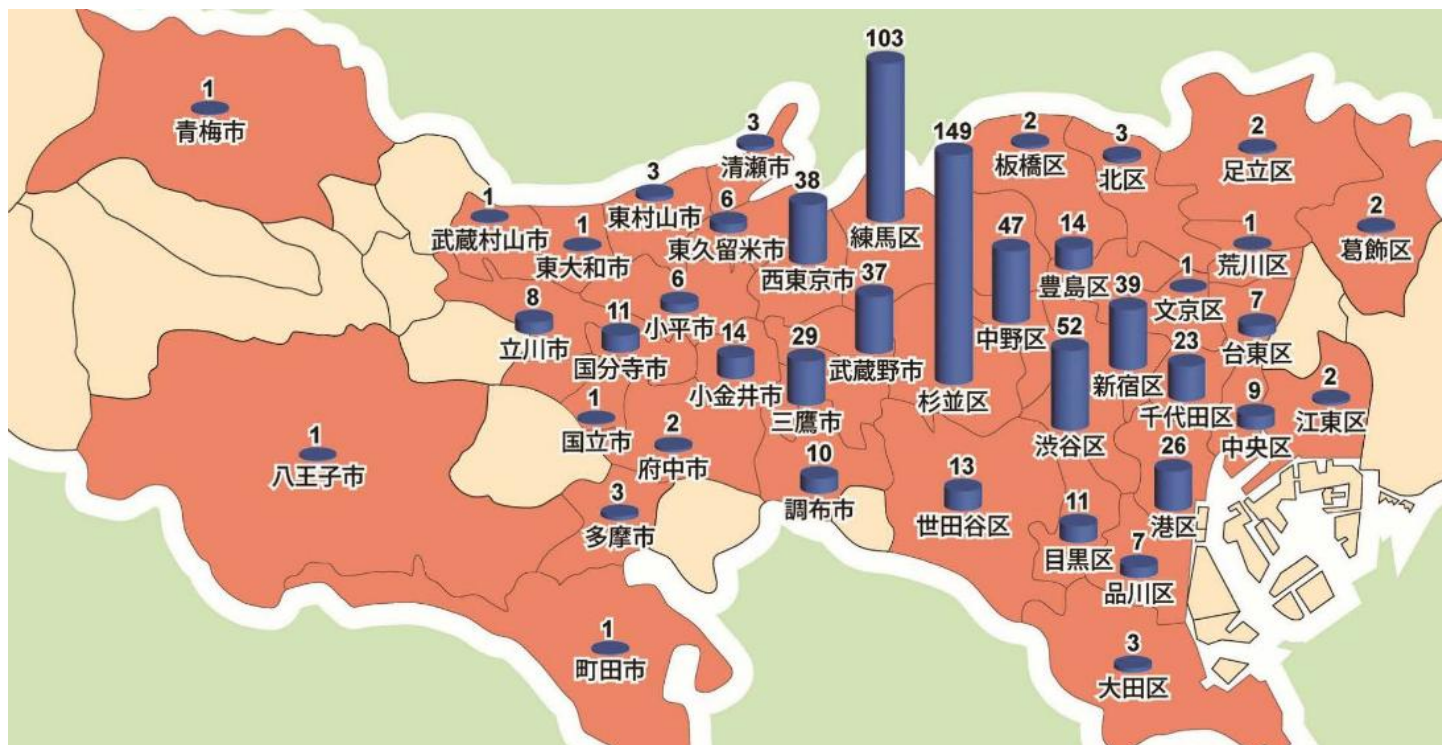
- 1978年 (株)東京ムービー（現 トムス・エンタテインメント）入社
制作：新・巨人の星、新・巨人の星Ⅱ、ルパン三世カリオストロの城 など
製作委員会：それいけ！アンパンマン、名探偵コナンなどの劇場版、
その他多くのテレビ作品
- 2008年 一般社団法人日本動画協会の理事・常務理事・副理事長に就任
- 2014年 上席執行役員
- 2016年 特別顧問
- 2017年 制作会社7社による「アニメフィルムフェスティバル東京」を立ち上げ、
統括ディレクターに就任
- 2018年 環境省の地球の温暖化の意志啓発アニメーション「ガラスの地球を救え」を
キャッチに『地球との約束』、『私たちの未来』を製作統括
- 2020年 退職
- 2021年 杉並アニメーションミュージアム館長就任
公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団（三鷹ジブリの森美術館）
の評議員



アニメ制作会社の集積数が日本一！

杉並区には国内のアニメ制作会社811社のうち、149社が集積しており、区市町町村別では**日本一**。

※一般社団法人 日本動画協会調査「日本のアニメ制作会社の分布」（2020年版より）



なぜ、アニメ制作会社が多くなったのか？

○代表するアニメ会社の誕生

昭和39年に『東京ムービー（現：トムスエンターテイメント）』が設立

○立地環境

- ・都心へのアクセス（東京中心部の広告プロダクション等との距離が近い）
- ・住宅地としての環境（都心へのアクセスが良い）

○産業集積の効果

- ・制作会社間のネットワーク（仕事の受発注も効率的になる）

有名な作品を制作している区内の会社

制作会社	代表作
バンダイナムコフィルムワークス	機動戦士ガンダム
バンダイナムコピクチャーズ	銀魂、ケロロ軍曹
A-1 Pictures	俺だけレベルアップな件、マッシュル
ボンズ	僕のヒーローアカデミア
MAHO FILM	青のミブロ
ライデンフィルム	東京リベンジャーズ、るろうに剣心
サテライト	創聖のアクエリオン
エイトビット	ブルーロック、ゆるキャン△
スタジオ地図	サマーウォーズ、バケモノの子
スタジオカラー	エヴァンゲリオン
コミックス・ウェーブ・フィルム	すずめの戸締り、天気の子、君の名は。

など

ちょっと前までは… ufotable（鬼滅の刃）、MAPPA（チェンソーマン）

アニメを活用するうえで必ず必要となるもの

使用許諾

アニメ作品やキャラクターは著作権で厳格に保護されている
権利者：制作会社、出版社、製作委員会

著作権料

作品やキャラクターによって、著作権料の支払いが必要となる

監修

作品やキャラクター等を使用するにあたり、アニメ制作会社等の監修を受ける必要がある

無断使用厳禁

「アニメのまち杉並」の取組 ①

○杉並アニメーションミュージアム

日本のアニメを一堂に集めて展示する施設としては国内初

① アニメの歴史と文化を学べる展示

- ・日本のアニメの誕生から現代までの流れを紹介

② 制作体験ができる

- ・アフレコ体験
- ・作画体験
- ・ワークショップ

③ 企画展・ミニ企画展

- ・人気作品やテーマに応じた企画展を定期的を開催
- ・区内アニメ制作会社と連携した展示会を開催



「アニメのまち杉並」の取組 ②

○中野・杉並・豊島アニメ等ブランディング事業

3区連携により、地域特性を踏まえた「地域の魅力づくり」を進めるとともに広域的な情報発信・各区でのイベントを実施し、にぎわいや活気を創出する

すぎアニエキスポ（令和7年度）

- ① アニメ制作会社出展ブース
- ② アニメ制作会社紹介パネル展
- ③ アニメ制作会社紹介冊子の配布
- ④ アニメ制作体験コーナー
- ⑤ 似顔絵コーナー
- ⑥ クイズラリー



「アニメのまち杉並」の取組 ③

○地域との連携

① 商店街アニメフラッグ

八丁通り商店街、北口大通り商店街 全10種類



② 「機動戦士ガンダム」モニュメント

平成20年3月、西武新宿線上井草駅前にサンライズ（現バンダイナムコフィルムワークス）と協力して「機動戦士ガンダム」モニュメントを設置



©サンライズ

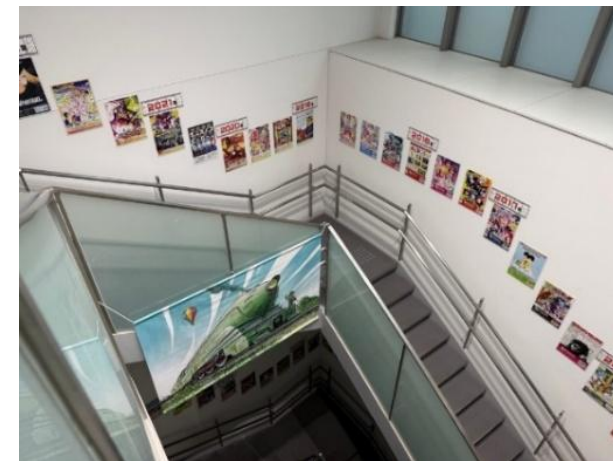
③ 地域情報誌

荻窪の地域情報誌「Ogibon」の特別号として区内アニメ制作会社（11社）の会社を紹介する冊子を制作



④ 三菱UFJ銀行との連携

三菱UFJ銀行荻窪支店を活用して、杉並アニメーションミュージアム20周年展示を実施



「アニメのまち杉並」の取組 ④

○区が舞台のアニメ・マンガ等との連携

○平成27年 アクエリオンロゴス（アニメ）

阿佐谷を舞台とした作品

- ・聖地巡礼マップを制作
- ・ゴールドアクエリオン像展示

○令和4年 ぼくらのよあけ（劇場版アニメ）

阿佐谷・杉二小を舞台とした作品

- ・タイアップポスター・チラシ
- ・杉並第二小学校で試写会開催
- ・区内商店街でフラッグ等の掲揚

○令和7年度 ひらやすみ（ドラマ）

阿佐谷周辺を舞台とした作品

- ・一緒に見ようの会
- ・ファンイベント

令和9年1月のアニメ放送に合わせてPR支援実施予定



「ひらやすみ」ってなに？

阿佐谷周辺を舞台に 「ひとやすみ」するような日常を描く漫画作品

< 作品紹介 >

近所のおばあちゃんから譲り受けた、阿佐谷の平屋で暮らす主人公・ヒロト。いとこのなつみが上京し、共同生活が始まります。阿佐谷や高円寺を舞台に描かれるのは、二人の周囲の人々の日常や、誰もが抱える不安や葛藤。気づけばヒロトやなつみに共感し、励まされ、まるで二人が同じまちに暮らしているように感じられる作品です。

< 著者 > 真造圭伍

< 概要 > 2021年より『週刊ビッグコミックスピリッツ』にて連載開始
既刊10巻で現在も連載中
2025年NHK総合にて岡山天音主演でドラマ化

< 主な受賞歴 > 2022年 「マンガ大賞2022」第3位
2026年 「小学館漫画賞」受賞 など

アニメ「ひらやすみ」
2027年1月NHK総合テレビにて放送予定

ひらやすみ

1.

ヒロト

29歳・フリーター
阿佐谷の平屋で暮らす
自由人

hirayasumi shinzo keigo

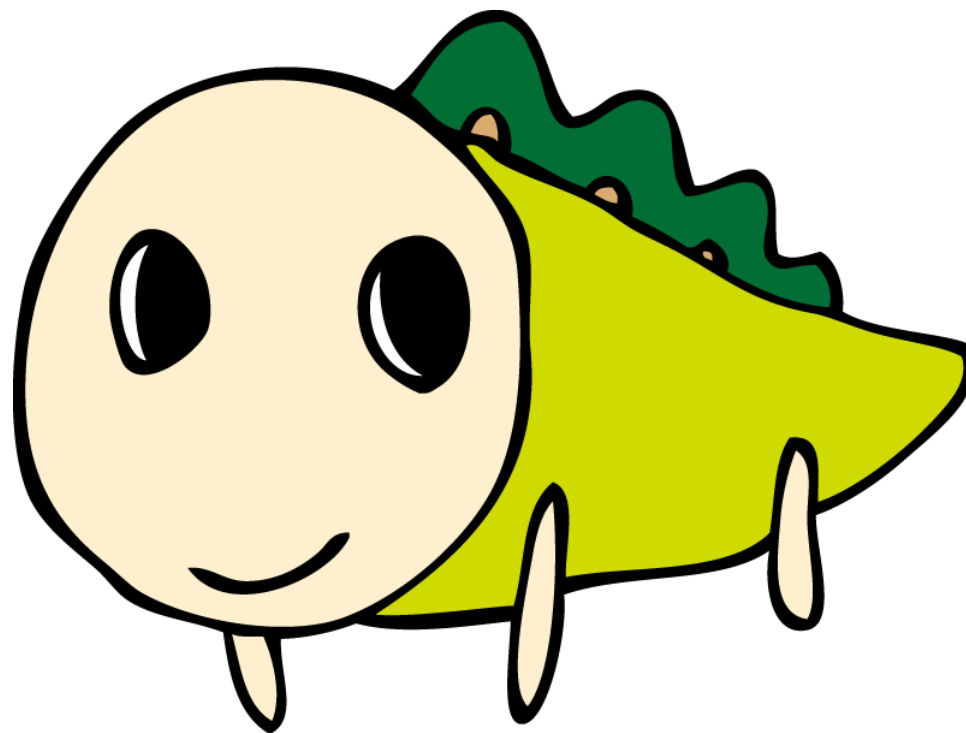
真造圭伍

なつみ

18歳・美大生
進学のため山形から上京
ヒロトのいとこ

杉並区公式アニメキャラクター

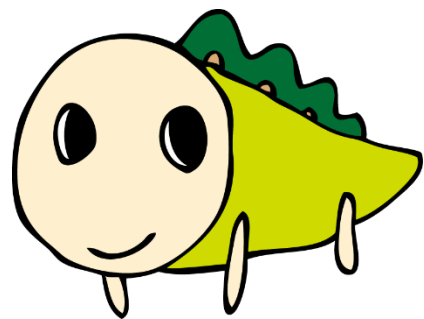
なみすけ



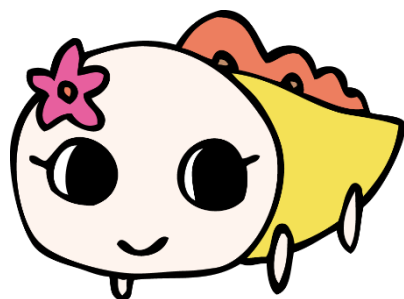
誕生の経緯

平成18年に世界有数のアニメ産業集積地である「アニメのまち杉並」の魅力を発信する親善大使としてキャラクターを募集

区民と区を優しくつなぐキャラクターとして誕生



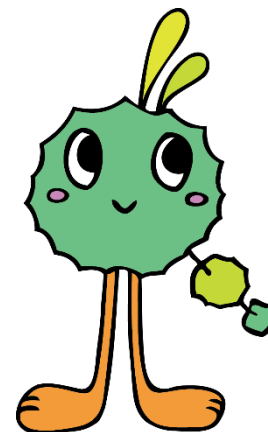
なみすけ



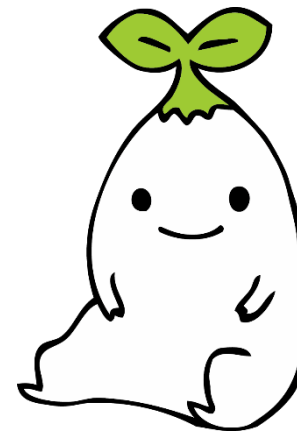
ナミー



なみきおじさん



スピト



タネタ

なみすけの取組__イベントへの出演

令和7年度の出演数 60件

令和6年度 54件

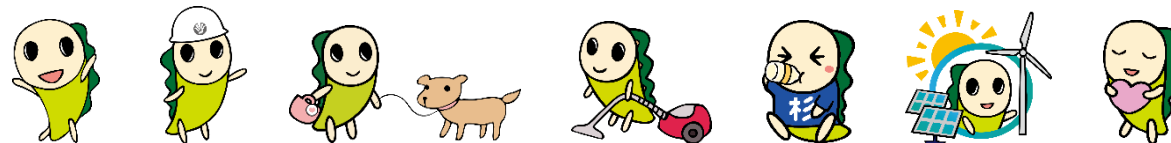
令和5年度 47件

- ・東京高円寺阿波おどり
- ・高円寺フェス
- ・すぎなみフェスタ
- ・アニメ・マンガフェス
- ・すぎなみ産業マルシェ
- ・二十歳の集い など



なみすけの取組__デザイン

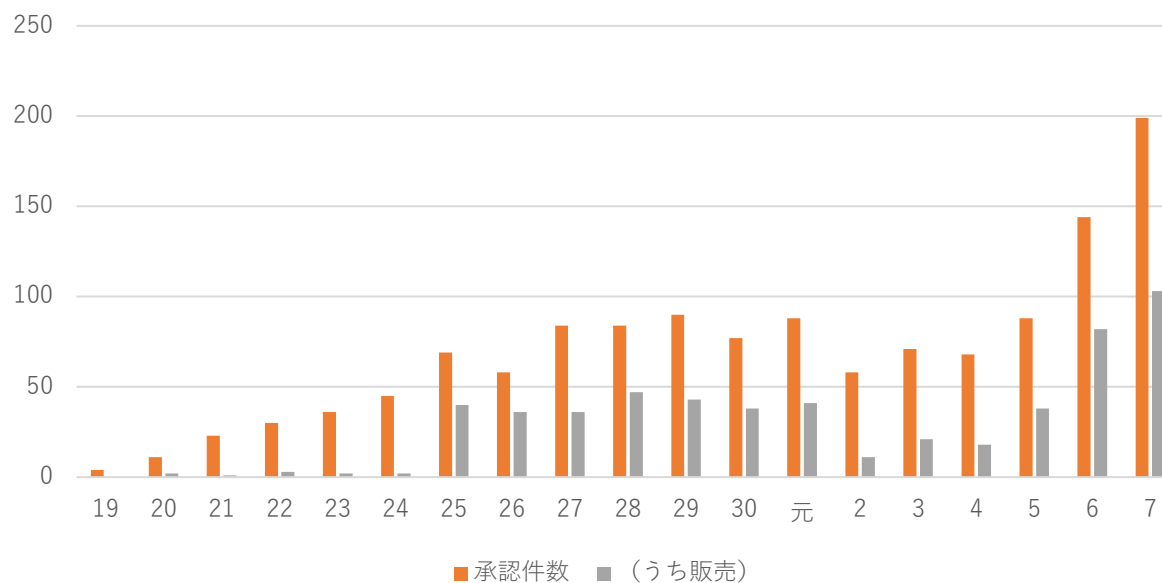
○デザイン総数：439種類



○デザイン使用状況

平成25年からデザインの使用料を無償化  使用申請数の増加

なみすけデザイン申請件数【平成19年～】



なみすけの取組__グッズ展開

○商品数

- ・区制作：36品目（うち現在販売数：11品目）

ぬいぐるみ、BC付マスコット、絆創膏、一筆箋、
アクリルキーホルダー、ネックストラップ など

- ・民間制作：572品目

衣類（Tシャツ、ソックス等）、バッグ類、文具、
生活用品、食品・飲料関連 など



○販売場所：区内8カ所

- ① コミュかるショップ
- ② 杉並アニメーションミュージアム
- ③ 産業商工会館
- ④ 希望の家
- ⑤ 杉並公会堂
- ⑥ 西荻地域区民センター
- ⑦ セシオン杉並
- ⑧ ふらっとすぎはち

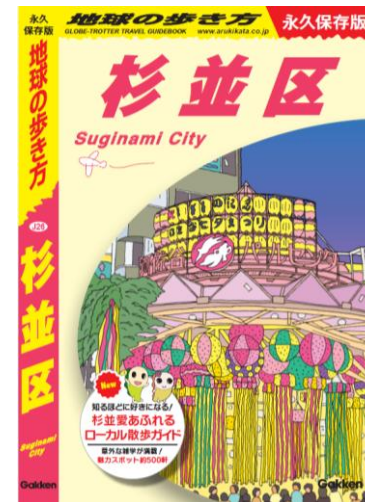
なみすけの取組__デザインマンホール

来街者の誘致を図り「にぎわい・商機」の創出を図るため、東京都産業労働局・下水道局と連携して実施



なみすけの取組__メディアへの出演

- ・じゃあ、あんたが作ってみろよ（ドラマ）
- ・ぼくたちん家（ドラマ）
- ・マクドナルド（CM）
- ・地球の歩き方 杉並区（ガイドブック）
- ・週刊女性自身（週刊誌）



おさらい

『アニメ』について

<成果>

- ① アニメ制作会社との連携により、キャラクターの使用が容易になる
- ② 「アニメの集積地」を広域的に発信できる
- ③ イベント等により来街者の誘致と地域のにぎわい創出ができています

<課題>

- ① 杉並区（アニメーションミュージアム含む）が、アニメファンの『聖地』になっていない
- ② アニメ制作会社との連携が限定的であり、地域特性が活かせていない
- ③ 「アニメのまち杉並」の取組を区民が身近に感じられていない



おさらい

『なみすけ』について

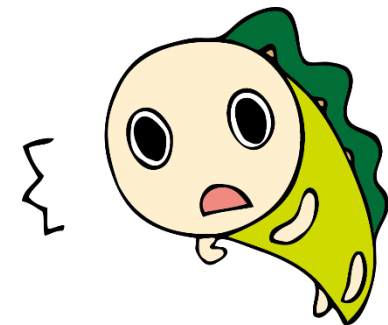
<成果>

- ① 人気、年々上昇している
- ② 民間事業者による様々なグッズが展開されている
- ③ メディア出演が増えてきている
- ④ 区民認知度の向上（令和2年度約86%→令和7年度約90%）

<課題>

需要と供給が合わない

- ・グッズがすぐに完売してしまい欠品期間がでてしまう
- ・なみすけの使用に制限がある



話し合っていたいただきたいこと

①「アニメ」を活用した杉並区の認知度の向上やにぎわいを創り出す取組

○アニメ制作会社と連携してできることはなにか？

こんなイベントを開催してほしい、アニメーションミュージアムでこんなことをしてほしい など

②「なみすけ」を活用したPRの取組

○今年で20周年を迎えるにあたり、“関われる”“思い出になる”施策はなにか？

こんなグッズを作ってほしい、なみすけにこんなチャレンジをしてほしい など

③阿佐谷周辺を舞台とする「ひらやすみ」を活用した取組

○「ひらやすみ」を活用した区の魅力を発信するには何をしたらよいか？

作者や声優さん呼んでトークイベントをしてほしい など

